

城と史蹟を歩く会第22回 「鎌倉大仏と切通し旧道を歩く」 ご案内資料

<日時> 平成15年5月10日(土曜日=予備日は17日)

<主要行程> 八幡宿7時04分(快速先頭1~3両目乗車)東京57分(地下①番線)鎌倉8時52分着(江ノ電側改札集合) (江ノ電) 稲村が崎9時30分ころ着、稲村が崎、極楽寺、極楽寺坂切通し、成就院、長谷寺(昼食)、鎌倉大仏、大仏坂切通し、旧道(バス) 鎌倉駅、鎌倉16時45分(快速先頭車両乗車) 八幡宿18時41分着

山岸弘明

1) はじめに

- ①鎌倉幕府(城) = 鎌倉幕府は12世紀の後期、源頼朝が鎌倉に立てたわが国最初の武家政権。源氏将軍が3代、藤原氏将軍が2代、親王将軍が4代続いたが、頼朝以降実権は執権の北条氏が握った。1世紀にわたって執権政治体制を持続、元寇を契機とした幕府の内紛と後醍醐天皇による公家勢力の反撃で崩壊した。鎌倉(城)は南面を海、3方を小高い海に囲まれた要害の地。街全体が総構えの城郭でもあった。
- ②切通し、鎌倉7口 = 周囲の山を切開いて作った鎌倉(城)の虎口。7口は極楽寺坂、大仏坂、化粧(けわい)坂、亀ヶ谷(かめがやつ)坂、巨福呂(こぶくろ)坂、朝比奈、名越の切通しをいう。
- ③新田義貞の鎌倉攻略 = 義貞は上野に土着した南北朝、鎌倉後期の武将。はじめ幕府方だが、元弘3年(1333)反幕府の軍を起し、途中駆けつけた反幕府勢を吸合、10万の軍勢で鎌倉を攻め、北条一門を滅亡させた。

2) 稲村が崎

- ①新田義貞の攻略口。元弘3年5月22日、切通しからの進攻が困難とみた義貞は大潮の干潮を利用して海岸からの鎌倉市街に攻め入った。
- ②戦勝を祈願して宝剣を海中に投げ入れると潮が一気にひいたという伝説は余りにも有名。
- ③険しい絶壁。義貞軍の厳しい進撃を窺う。
- ④周辺は公園として整備され、江の島に続く海岸線、背後に聳える富士山、沖に伊豆諸島が望める。
- ⑤ボート遭難慰霊碑 = 明治43年逗子開成中学校生徒の乗るボートが転覆して12名の命が奪われた。



江ノ電の車内

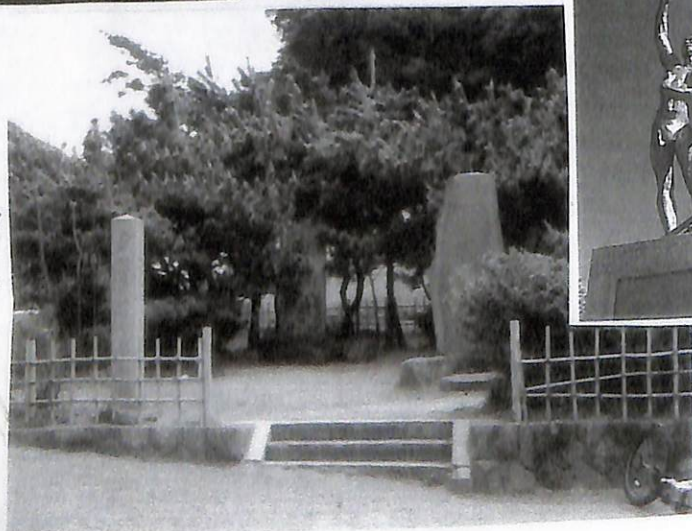


稲村が崎



←ボート遭難慰霊碑

古松岡崎



3) 十一人塚

- ①5月19日、最初の鎌倉総攻撃で戦死した新田軍戦死者大館宗氏ら11人の墓。極楽寺坂(稲村が崎とも)から市街に突入するが鎌倉軍に包囲されて討死。
- ②大館又次郎源宗氏主従十一人墓(角柱およそ2m=文久2年) はじめ鎌倉市街に十一面観音堂を建立、江戸後期に宗氏の子孫が現在地に移転したという。

4) 極楽寺

- ①靈鷲山感応院極楽寺 = 真言律宗。鎌倉中期正元元年(1259)、2代執権北条義時の2男で極楽寺坂の守備を勤めた重時とその子6代執権長時の創建。極楽寺坂切通しを開く。
- ②開山の忍性上人は道路改修、架橋などの土木事業、病院、孤児院、養老院の開設などの慈善事業を行なって人びとの尊敬を集めた。最盛期は金堂、講堂、五重塔や49の支院を数える大伽藍を誇ったが、度重なる天災、火災で大部分を失い、旧塔頭吉祥院が名跡を伝えている。
- ③山門 = 四脚門、かや葺き。みごとなけやき1枚戸。江戸後期?。くぐりから山内へ。
- ④本堂 = 宝形3間堂、棟上に北条氏の家紋三つ鱗が輝く。
- ⑤薬鉢、茶臼、井戸、北条時宗手植の桜。⑥宝物殿に釈迦如来座像など寺宝多数展示(立入らない)

5) 上杉憲方の墓

- ①上杉憲方 = 足利時代の関東管領で山の内上杉家開祖。道向かい山裾に逆修塔の宝きょう印塔、開基の明月院にも宝きょう印塔がある。
- ②憲方の墓 = 安山岩七層塔。塔身4面に仏像、基台に格狭間を刻む。鎌倉中期の形式かつ巨大。隣の五層塔は妻の墓ともいわれるが定かでない。ほかに一族の五輪塔数基がある。



↑十一人塚



↑極楽寺  
←忍性上人像  
↓上杉憲方と一門の墓



↑古松岡崎  
←極楽寺



6) 極楽寺坂切通し、成就院

- ①極楽寺坂切通し=極楽寺開山の忍性上人開坂。坂の下から片瀬、腰越をへて東海道に通じた。京都と鎌倉を結ぶ幹線だが、道路は直進、掘下げ、舗装拡張されて変貌が激しい。当時の切通しは極楽寺から西方寺(現存しない)境内、成就院前を通って山越えした。背後の岩山を削って切岸とし、成就院後方の平地は幕府防御軍の本陣であったという。成就院周辺に旧道の一部が残り、景観が当時を偲ばせている。(切通しの防御体制は大仏坂で確認しよう)
- ②元弘3年5月19日の戦い主戦場、鎌倉が落ちた22日の戦いでも再度主戦場となるが、稲村が崎の別動隊が鎌倉に突入した。
- ③成就院=弘法大師が護摩供養した地に、承久元年(1219)3代執権北条泰時が創建。元弘3年の戦いで焼失。本堂は非公開。本尊不動明王、弘法大師像など。アジサイ寺としても有名。
- ④旧道、石段からの由比が浜のながめを満喫する。

7) 星の井

- ①鎌倉十井の一つ。昔樹木が生い茂り日中も暗く井戸をのぞくと星が輝いたという。鎌倉軍が飲料水とし、慶長5年江戸に進む徳川家康も喉を潤したという。井戸の中はみえない。
- ②明鏡山円満院星井寺=虚空像堂。知恵と福を与え、すべての願いを叶えるという万能の神様。

8) 御霊神社(鎌倉権五郎神社)

- ①祭神は頼朝前、当地を拠点とした豪族鎌倉権五郎景政。11~12世紀はじめ相模三浦一族に対抗、鎌倉の地を争った。境内左に景政弓立て松、右に景政お手玉石。後世、地元成人式の力石とされた。
- ②旧境内を江の電が横切る。家々の軒先を掠めて走る江の電も鎌倉名物。

極楽寺坂切通しから七里が浜まで



成就院



御霊神社



極楽寺切通し

↑星の井×虚空蔵ボツッ 名物力餅家 →

9) 長谷寺 (団体250円=昼食、境内は自由見学=およそ1時間)

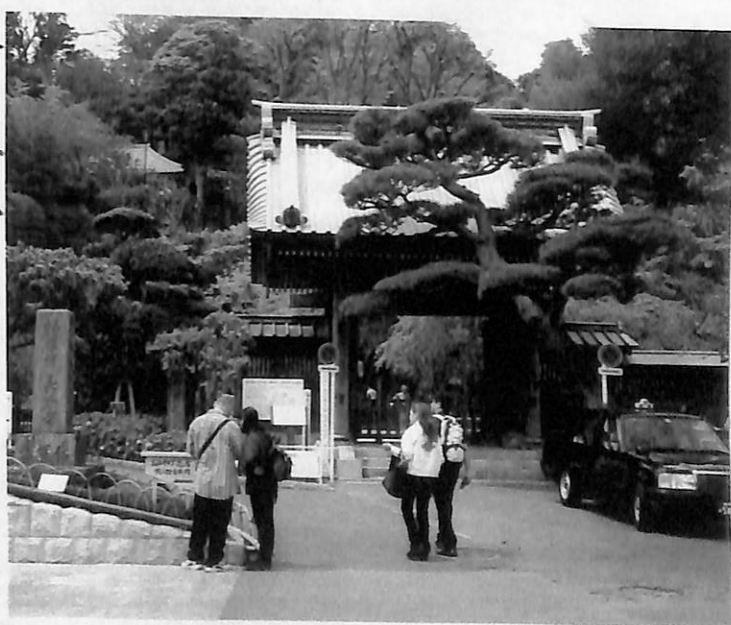
- ①海光山慈照院長谷寺。浄土宗。8世紀天平8年とも鎌倉中期創建とも。開基、開山は不詳。
- ②観音堂=全高12mの11面観音が見る人を圧倒。左右の手に錫杖と蓮華を持ち、全身金色に輝く。頭上11面の仏はそれぞれ異なった表情を持ち、様々な人を救済するという。
- ③阿彌陀堂=源頼朝の42才の厄除けに作られたと伝わる阿彌陀如来座像を安置。
- ④宝物館=国の重要文化財である梵鐘、板碑、懸仏などを展示している。
- ⑤境内隅の展望台からの展望が抜群。相模湾と鎌倉市街が一望できる。景色をみながら昼食。

10) 鎌倉の大仏 (団体170円)

- ①高德院=大異山高徳院浄泉寺。浄土宗。開創、開基、開山は不詳。
- ②仁王門=切妻屋根、銅板葺き、8脚門、アウンの2王を配す。江戸時代中期?。
- ③手水石=寛延2年、江戸の伊勢屋忠兵衛寄進、八丁堀石工。青銅灯籠1対=正徳2年、江戸の豪商で寺を再興した野島新左衛門寄進。鋳物師太田駿河。
- ④鎌倉の大仏=奈良東大寺大仏と比した俗称。阿彌陀如来座像。全高13メートル、顔の長さ2.3m、目の長さ1m、耳の長さ1.9m、121t。女流歌人と謝野昌子が「鎌倉や御仏なれど釈迦牟尼は 美男におわす夏木立かな」と詠んだ。
- ⑤東国にも大仏を造ろうとした源頼朝の遺志が引継がれたという。鎌倉後期暦仁元年(1238)着工、6年後完成するが、当初の大仏は木造であったため台風で倒壊、建長4年(1252)青銅の大仏鑄造にかかり、その工期は50余年におよんだとみられる。完成日、製作者など不詳。勧進上人は浄光、全国行脚で浄財を集め、3代北条泰時以下鎌倉幕府があげて支援した。
- ⑥材質は青銅。金張り(ほとんど消滅)。銅鏡、銅銭そのものを鑄込んだという。木造仏に粘土を張って鑄型を作り、現地で溶解した青銅を鑄込んだ。
- ⑦肩、胸、ヘソなど6か所の横線は下から順に鑄込んだ名残。土のスロープで順次埋込み、完成後、周りの土を取除いたという。
- ⑧大仏殿=大仏とともに建造されたが大地震による津波で倒壊した。礎石から往時が偲べる。
- ⑨室町時代に廃寺。大仏も放置されたが、江戸中期の正徳2年(1712)江戸豪商の手で復興された。



長谷寺

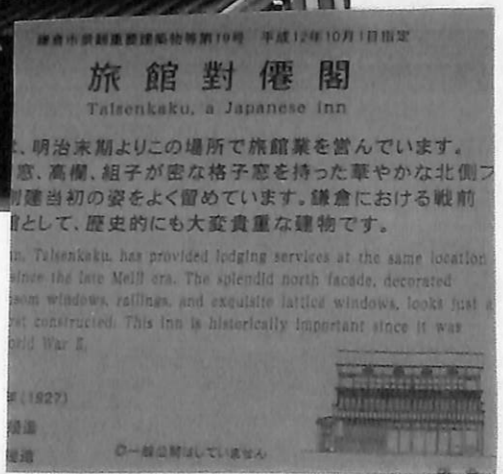


長谷寺の山門



鎌倉の大仏

長谷寺門前丁の古旅館



1 0) 大仏坂切通し旧道

- ①切通し(前出) = 山や丘などを切開いて通した道という。鎌倉のそれは単に町への道を超えた城の虎口で、敵の侵攻から鎌倉を守る拠点として作られていることに注目したい。
- ②大仏坂切通し = 梶原、山崎から藤沢への道。バスや大型トラックが疾走する大仏トンネルの脇に廃道となった旧道が残されている。当時はケモノ道程度で、余りの厳しさに鎌倉府、江戸期、明治以降と数百年間にわたって改修されたという。コースは平場と山越えに分かれるが山越えは、一部崩落して危険なので今回は平場だけとしたい。
- ③切通し入口 = 民家の軒先を通抜けると地元でも知らない人が多いという小道に出る。道はどんな地図にも載らない秘境でもある。
- ④切岸 = いきなり幅20m、高さ20mはあろうかという巨大な絶壁に遭遇する。そびえたつ切岸は見る人の度胆を抜いてしまう。切岸は敵がよじ登れないよう直角に削落とした人工の岩壁で、上から石や弓矢を射かける巨大な升形といえなくもない。
- ⑤馬返し、駒返し = ガクンと一段上がった急坂、馬で一気に攻めこれないようわざと段差をつけた。

1 1) いったん解散

- ①旧道この先は元気組だけ。参加自由。
- ②不参加組は火の見下バス停からバス(10分間隔)で鎌倉へ。小町通りで買い物を楽しむ。

1 2) 大仏坂切通し旧道 (元気組で続行)

- ①置石 = 道の中央に置かれた巨石。これも馬での通行を封ずる備えだ。
- ②屈折しながら切通しが続く = わざと複雑に曲折した道。守備側は山上に作られた武者走りを巧みに利用したゲリラ攻撃もある。カーブに、山上に城兵の姿が見え隠れしてうかつに攻め込まない。
- ③山越え = 急坂の山越え部分は通行止め。ハイキングコースに迂回、山越え。
- ④鎌倉大仏まで戻り、バスで鎌倉へ。電車ホームで買い物組と合流。

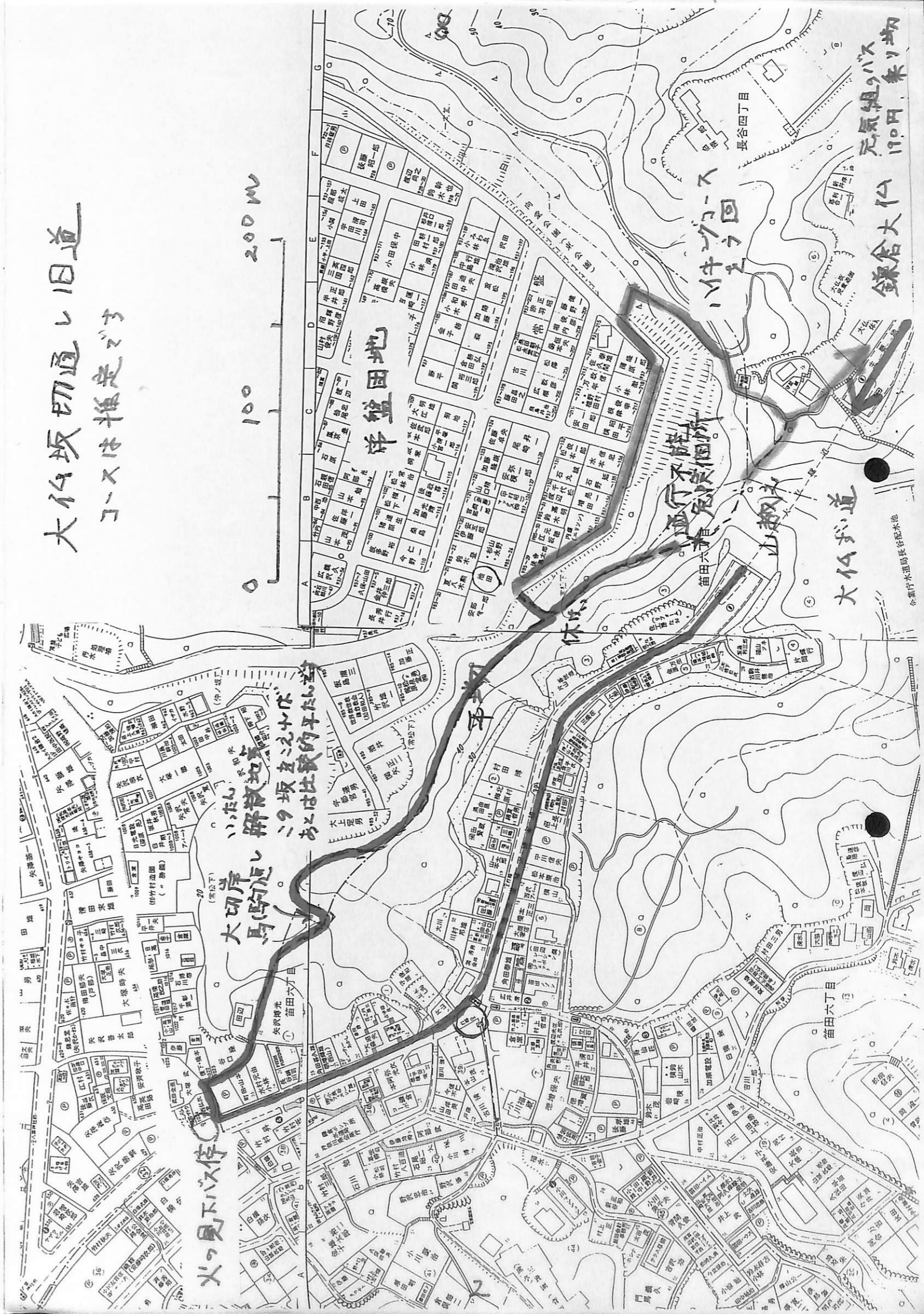
以上



↑ 切通し旧道  
↑ 切岸



↑ 火見下  
置石 →



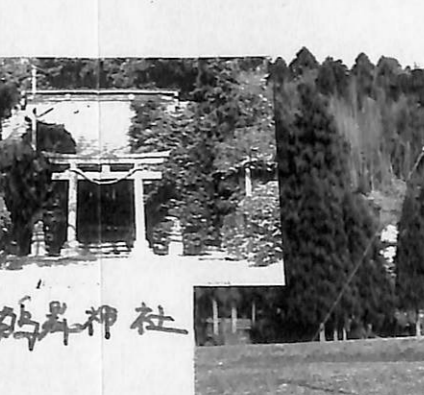
第23回「鶴舞城と池和田城を歩く」 予告編

往路=八幡宿9時14分、五井17分着、22分(小湊鉄道)牛久49分着(乗換え時間少ない)53分(バス15分)鶴舞公民館前下車  
復路=鶴舞駅解散16時14分乗車、五井駅16時49分着

主なコースとみどころ 乗車券=小湊五井-牛久往復(ホームか車内で)

- ①鶴舞城(鶴舞藩庁)=明治元年、徳川宗家を継承した徳川家達の駿府移封にともない、浜松6万石の井上正直が市原に転封。江戸時代の市原は大半が旗本と幕府直轄領で土壌も豊だが大名の居城はない。正直は鶴舞の地を選んで城郭建設をすすめ、明治3年、御殿など一応の完成を待って入城。しかし、この間の版籍奉還で、城は藩庁、城主(殿様)は知事に変わり、翌明治4年、廃藩置県。城の建設は中止され、6年廃城。藩主御殿は鶴舞小学校として明治43年まで使用された。築城1年、未完成のままその使命を終えた幻の城。
- ②浜松井上家と最後の殿様・井上正直=徳川幕府創設期の功臣、井上正就の直系。正直は幕末2度老中に就任。維新の戦いは新政府に恭順、鶴舞知藩事をへて華族、次の正英が子爵に。
- ③藩校克明館跡=教育熱心な井上藩の藩士養成所。浜松で開校。朱子学+洋学を学び洋式兵制訓練も。敷地千5百、建坪6百坪。講堂、教場、演武場、寮。
- ④鶴舞神社=明治3年、浜松から移遷。鶴舞城の守神。手水石も浜松から。
- ⑤高台=眺望抜群。切り立つ断崖は自然の要害を感じさせる。周囲を土塁巡る。
- ⑥本丸水濠=セキの内側に土塁を回して水濠として活用。変形T字形に広げる。
- ⑦本丸土塁=歪みをもった横矢掛かりで高さ4.8m、長さ100m。半分が現存。
- ⑧本丸碑と藩庁看板=鶴舞小学校の現存土塁に史跡看板。よくまとった説明。
- ⑨大井戸跡、椎の大木=当時のもの。井戸は現在でも水は枯れないという。
- ⑩本丸殿舎(藩庁と知事邸)跡=表、中奥、奥、庭園で構成。唐破風?大玄関に石畳、式台、大戸など。間取不詳で10室ほど。6万石城郭としては質素。
- ⑪搦手の守り=土塁が現存。空堀で囲む。堀切空堀、搦手門を推定。
- ⑫武家屋敷の郭=家臣7百、人口は3千。当初近隣の村々に分散、整地は本人で家作は官費。質素な藩士邸が立ち並んだ。春日井梅鶯の家。湯川家。
- ⑬久保田邸=鶴舞藩下級卒士現存屋敷(長屋?)。カヤ葺き15坪、土間と1室。
- ⑭大手天朝門跡=冠木門?に門番所。いまでも周辺を大手と呼ぶ。
- ⑮城下町=大手門から先は町家。1日にして完成した城下町も過疎化進む。
- ⑯家老伏谷如水邸跡=一時、正直の孫も居住。戦時下は首都防衛隊長官舎に。
- ⑰池和田城=中世里見方武田氏の支城で城主は多賀氏。平蔵川と沼地、絶壁に囲まれた要塞で曲輪、大堀切、土塁、空堀、物見などが精度よく残る。
- ⑱池和田の戦い=永禄7年、関東制覇をめざす里見氏が国府台に進出して小田原氏を迎え撃ったが大敗。池和田城は上総深く追撃した里見氏の猛攻撃を受けて落城、多賀蔵人以下多くの城兵が戦死。実際に戦った悲劇の城。
- ⑲本丸=鳥がはばたくような形。4千㎡。詰めの城。城主館、倉庫蔵など置く。側先端急崖の小郭は物見かのろし台か。最奥からの展望は抜群。
- ⑳天神社=多賀氏守り神。落城4百年現在に続く。
- ㉑2の丸=本丸崖下、北郭、南郭、要害の3区。竹林が密生している。
- ㉒要害=通称ユゲ。自然の地形を利用した谷地。誘いこんで討ち取る。
- ㉓内沼、外沼=タンボはかつて沼地。周囲に漆房、白の前、矢田の小字名も。
- ㉔光明寺=古色蒼然の名刹。伝出城。物見、土塁、空堀などの地形が。慶安2年、徳川家光から寺領15石の寄進状。中世石塔。旗本小倉吉次の墓。
- ㉕兜首=昭和19年、平蔵川近くの古松根に兜首。城主多賀蔵人?。
- ㉖姫塚=姫たちが落ち延びる途中、キビの風音を敵勢と勘違いして自害。
- ㉗鶴舞駅=大正後期、小湊鉄道開業当時の面影を残す。関東の駅百選に。

城と史跡を歩く会=0436-42-2237 山岸弘明



→ 小湊鉄道鶴舞駅

← 鶴舞城南台 ↑ ↑ 池和田城



城と史跡を歩く会 第22回「鎌倉大仏と切通し旧道を歩く」

平成15年5月10日(土曜日) ALBUM

主要コース

鎌倉駅、稲村が崎、極楽寺、極楽寺坂切通し、成就院、長谷寺(昼食)、  
鎌倉大仏、大仏坂切通し、大仏坂切通し旧道、鎌倉駅

参加者64名 (あいうえお順=敬称略)

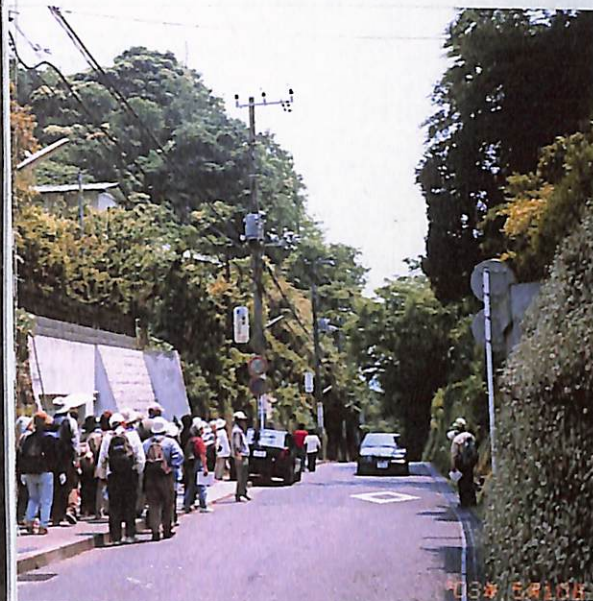
青木千津子、熱田百代、池田美志子、石井洋子、石原志津子、板垣てる、  
稲葉ミツ子、井上勝枝、猪野春枝、板倉 満、今井勝昭、今井さち子、  
今井典夫、岩村ユウ、大谷安弘、大谷順子、岡本千代、荻田恵子、小倉  
すみ、小野芳樹、金子昭夫、金子幸子、神林俊夫、神林良雄、桑原絹枝、  
小出敏子、斉藤定子、佐倉光子、渋谷奎吾、渋谷恵美子、白土貞子、鈴  
木クニ子、鈴木淳子、鈴木 満、高沢 毅、高城正雄、高城富子、田中  
勝子、千葉範子、続木 暉、続木順子、富永利克、富永玲子、中島和枝、  
中村節子、伴野久美子、広松妙子、藤沢真智子、堀口妙子、松川慶子、  
皆川 清、森アサ子、山田恵美、吉池一彦、吉池町子、吉水正子、柳沼  
房子、若菜幾世、渡辺清枝、山岸弘明、小出惣治、高沢恒子、鷲津寛子、  
藪本テイ子

次回案内(後期のスケジュールを配付します)

第23回=6月5日(雨天予備日12日)「鶴舞城と池和田城を歩く」



成就院が由比ヶ浜と



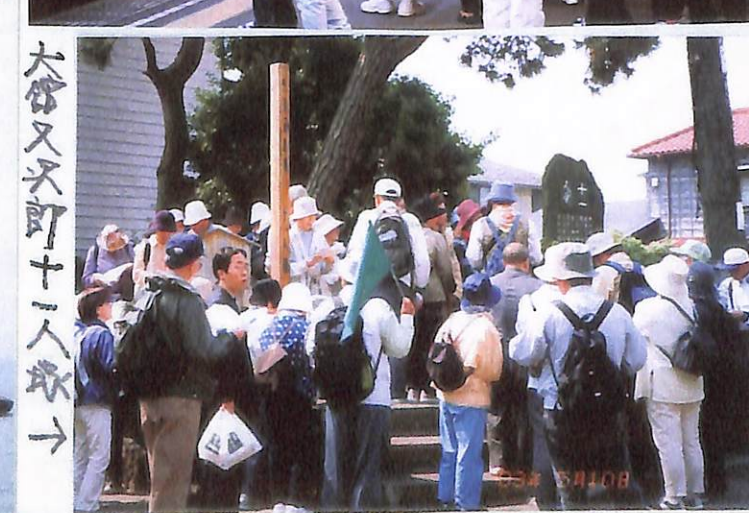
極楽寺切通し



鎌倉大仏



大仏坂切通し旧道  
←上杉馬方屋



↑極楽寺  
↓屋の井  
↓霊神社  
↓長谷寺

大仏又天町十八人歌→

稲村が崎

新田英貞の  
進軍路↓

極楽寺駅  
GOKURAKUJI STA